

へいせい ねんどだい かいかわさきくくみんかいぎ ぶかい
平成24年度第3回川崎区区民会議みんなのまちづくり部会

にち じ へいせい ねん がついつか すい ごご じ ぶん
日 時 平成24年9月5日(水)午後6時30分
ば しょ かわさきくやくしょ かい だい かいぎしつ
場 所 川崎区役所7階 第1会議室

しゅつせきしゃ けいしょうりやく
出席者(敬称略)

いいん にん
(1) 委員 10人

あいはらあきら あかまやすお あらいかずなり いわせきぬよ とむらまさふさ よねやまみのる よしのちさお てらおういち
藍原晃、赤間靖夫、新井一成、岩瀬絹代、戸村正房、米山実、吉野智佐雄、寺尾宇一、
ふじおかれいこ きじま ち え
藤岡玲子、木島千栄

ぼうちょう にん
(2) 傍聴 0人

かい かい
1 開 会

じむきょく かいぎかいさい あいさつ かいぎろく かいじ ぼうちょう じゅんしゅじこう かいぎ きろく こうほう
事務局 <会議開催の挨拶、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報として
しゃしんさつえい せつめい はいふしりょう かくにん
の写真撮影を説明、配付資料の確認>

ぎだい
2 議題

かわさきく ちいきぼうさい
(1) 川崎区の地域防災について

あいはらぶかいちょう せんじつ かいぎ かわさき ぼうさい はなし
藍原部会長 先日の会議で、川崎の防災はどうなっているのかという話がありました。
じかい せつめい こと きょう ぼうさいたんとう おおのかちょう
次回に説明をしていただく事になっていました。今日は、防災担当の大野課長がいらし
ているので、説明をして頂きその後に幸区版の防災のDVDをご覧になってから話し合
いをしたいと思います。

おおのかちょう かわさきくやくしょ ことし あたら そしき でき き きかんりたんとう ちょう おおの
大野課長 川崎区役所で今年から新しく組織が出来ました危機管理担当の課長の大野で
す。川崎区の地域防災につきまして、説明します。

こうもく かわさきく ちいきぼうさいけいかく かわさきく き きかんりちいききょうぎかい く ちいき
項目としましては、川崎区の地域防災計画と川崎区危機管理地域協議会と区が地域

ぼうさいりよく とうじょう ことし らいねん すけじゅー るおよ ちいきぼうさい かく
防災力をどのように向上するか今年・来年のスケジュール及び地域防災の核となる
じしゅぼうさいそしき せつめい
自主防災組織について説明します。

しりょう せつめい
＜資料1の説明＞

かわさきくちいきぼうさいけいかく しょほん へいせい ねん がつ さくてい かいいてい
川崎区地域防災計画は、初版が平成18年3月に策定されてから改定されていない。
へいせい ねん ひがしにほんだいしんさい はっせい なかみ みなお おこな くちいき
平成23年の東日本大震災が発生して、中身についての見直しを行っています。区地域
ぼうさいけいかく おおもと し ぼうさいけいかく かんれんせい せいごう ひつようせい いまし
防災計画の大元に市の防災計画があり、関連性を整合する必要性があります。今、市の
ちいきぼうさいけいかく みなお さぎょう はい しちいきぼうさいけいかく しんさいたいさく
地域防災計画についても見直し作業に入っています。市地域防災計画の震災対策につい
だい き みなお へいせい ねん がつ おこな げんざい だい き みなお おこな く
て第1期の見直しが平成24年7月に行われ、現在、第2期の見直しを行っています。区
ちいきぼうさいけいかく じゅうらい く ききかんりすいしんいんかい くぎょうせいないぶ けんとう
地域防災計画は、従来、区の危機管理推進委員会（区行政内部）で検討していました
へいせい ねん がつ ちいき ひと い かわさきくききかんりちいききょうぎかい そしき
が、平成24年6月に地域の人を入れて、川崎区危機管理地域協議会という組織を
た あ く ちいきぼうさいけいかく みなお こと だい じかいてい おも みなお
立ち上げて、区の地域防災計画を見直していく事にしました。第1次改訂での主な見直し
こうもく ひがしにほんだいしんさい ふ だい しょう せっち
項目としては、東日本大震災を踏まえて第6章を設置しました。

しりょう せつめい
＜資料2・3の説明＞

じしゅぼうさいそしき かんけいじぎょうしゃ ふく かわさきくききかんりちいききょうぎかい せっち きょう
自主防災組織や関係事業者を含めた川崎区危機管理地域協議会を設置しました。協
ぎかい ぶかい りんかいぶたいさくぶかい らいふらいんぶかい し れんけい じっし
議会には、6つの部会があり、臨海部対策部会とライフライン部会は、市と連携して実施
します。

しりょう せつめい
＜資料4の説明＞

じしゅぼうさいそしき ちょうないかい じちかい た あ くない じしゅぼうさいそしき
自主防災組織は、町内会や自治会が立ち上げています。区内には、104の自主防災組織
くない じしゅぼうさいそしき こうせい かわさきくじしゅぼうさいそしきれんらくきょうぎかい じむきょく
があります。区内の自主防災組織で構成される川崎区自主防災組織連絡協議会の事務局
ききかんりたんとく たんとく
を危機管理担当が担当しています。

じしゅぼうさいそしき ぼうさいくねん おこな しょうかき こうにゆう し じよせいきん で
自主防災組織には、防災訓練を行う・消火器を購入するのに市から助成金が出ます。
かくじしゅぼうさいそしき がっこう しせつかんりしゃ ちいきよういん あつ ひなんじよ ひなんじよ
各自主防災組織・学校の施設管理者・PTA・地域要員が集まって、避難所ごとに避難所
うんえいかいぎ ひら うんえい さいがい お とき ひなんじよ うんえい じしゅぼうさいそしき ちゅうしん
運営会議を開き、運営します。災害が起きた時の避難所の運営は自主防災組織が中心に
うご うご ふう うご よ み いめーじ
なって動くので、どういう風に動いたら良いのか、このDVDを見てイメージをしてほしい。

かんしょう
＜DVDの鑑賞＞

あいはらぶかいちょう ひなんじよ くんれん ちょうないかい ちいき なんかい おおしまちく
藍原部会長 このような避難所の訓練を町内会や地域で何回かやっております。大島地区

でもさくねんの11月27日に避難訓練をしました。学校の屋上に避難するということで、8
町内ちょうないが全部避難しました。当日300人を予定していたら、ぜんねんの災害をみて、600人以上
が来た。アルファ米も300を予定していたら、全然足りなくて間に合わなかった。

中学校区単位の物資はあったが、大きな災害の時には間に合わない。今年ようやく、
小学校区単位で物資が来るようになった。少しずつ、それぞれの地域に物資がいくよう
になったと思う。大野課長の説明とDVDを見て、ご質問や意見があればお願いします。

大野課長 避難所に指定されているのが、小学校・中学校です。避難所ごとに避難所運営
会議が設立されていて最低限、年1回は避難所運営会議を開くことをお願いしています。
又、順次訓練も行うことを呼びかけています。

赤間委員 DVDを見て、実際あつては困るが、身を守る為にも訓練はした方が良し、必要
だと思う。

藍原部会長 外国人市民という人がいて、その人たちがどういうふう誘導するの
か載っていなかった。大島地区では、避難所はここですと5ヶ国語で書いて、町内の掲示板
に貼ってあります。結構避難してきてくれて、自分達で施設を体験してみてもよかったと
いう話をきいた。

新井委員 東日本大震災のような地震がもしここに来た場合、自主防災であれだけ
ボランティアの方が集まるかといったら自分の家の事で精いっぱい、もっと細分化し
ていかないと集まるのが難しい。

大野課長 実際に災害が発生した場合、避難されてきた方も避難所の運営と一緒に入って
いけないといけないので、避難所ごとに運営マニュアルを作成している。誰がどんな役割
をしたらいかに具体的に考えていけるように思っている。

あらいいん しりょう そあん なか だい しりょう かくしゅたいさく なか つなみたいさく かわさきく
新井委員 資料1の素案の中で第6章の各種対策の中で(1)津波対策とあるが、川崎区は
いちばんつなみ ひがい お おも ひょうこう ひょうじ お だ こうえん かいぼつ
一番津波の被害が起きると思うが、標高の表示がされているのが小田公園だけで、海拔
で かわさきく なか ひょうじ お だ こうえん いりぐち
2mと出ている。川崎区の中で表示されているのは、小田公園の入口のところだけなのか。
きゅうむ かくちょうないかい めいん ぼしよ ひょうじ
急務で各町内会のメインの場所に表示をしてほしい。

おおのかちょう つなみ かいぼつ ひょうじ し
大野課長 津波がどのくらいでくるとか、海拔がどのくらいになるとかの表示について、市
き き かんりしつ きょうぎ つ よ で ざいん
の危機管理室と協議をしていて、どういうところに付けたら良いか、どういうデザインと
じょうほう い けんとう
か、どういう情報を入れたらよいかについて検討しています。

じむきょく こんねんどじゅう いぜん あらいいん はなし
事務局 今年度中にやるということになっています。以前にも新井委員からお話があり
そうむきょく き き かんりしつ こんねんど よさん で き こと らいねんど よさん で き こと
ました。総務局の危機管理室で今年度の予算で出来る事と来年度の予算で出来る事と
ほせい く なか じっこう くみんかいぎ て ー ま ぼうさい かか ところ
補正を組む中で実行します。区民会議のテーマが防災に関わることなので、どういう所
ひょうじ みな いけん き たと たとし れい なか でんちゅう
に表示をしたらよいか皆さんに意見を聞きたい。例えば、他都市の例の中では、電柱に
は ところ ちいき かた ようぼう さだ
貼っている所もあるし、地域の方のご要望にあわせてやっているのか定かではありませ
じむきょく ほう たと ちょうないかい じちかい かずおお けいじばん せっち
ん。事務局の方では例えば、町内会・自治会が数多くの掲示板を設置しているので、そ
けいじばん つ いけん き し き き かんりしつ かた
の掲示板に付けるのではどうか。意見を聞いて、市の危機管理室の方にもって行って、
じっこうベーす きょう いけん おも あと いけんいただ けっこう
実行ベースにします。今日ご意見いただけたらと思うのと後でご意見頂いても結構です。

いわせいん じしゅぼうさい かいぎ で ひと はなし き とき つなみ き とき びちくそうこ いま かい
岩瀬委員 自主防災の会議に出た人の話を聞いた時に、津波が来た時に備蓄倉庫が今1階
やく た
にあるので、役に立つのかどうか。

あいはらぶかいちょう いま どうかいおきじしん き つなみ き
藍原部会長 今、東海沖地震が来たら、15mではなくて30mの津波がくると聞いている。
ふじさわ かいがん ひなんじょ つく たか ま あ
藤沢の海岸に避難所を作ったが、15mの高さだったので、それでは、間に合わない。

おおのかちょう いま つなみ たか めいかく
大野課長 今、津波がどのくらいの高さがくるかというのは、まだ明確にされていません。
けん ちょうさけっか さいだい ひょうじ かくちいき びちくそうこ ぼしよ
県の調査結果では、最大4mという表示になっています。各地域の備蓄倉庫の場所によ
あたら せっち
ってもどうなるかみななければいけません。新しく設置するところについては、それを

こうりよ つなみ もんだい けんとうかだい
考慮してやる。津波の問題は、検討課題にあがっています。

よしのいいん そうていがい い よう りすく かみ つく しこく
吉野委員 想定外と言わない様にありとあらゆるリスクを加味して作る。四国は36mで
とうきょうわん しんぶん か どうきょうわん いりぐち おお じしん
東京湾は3mと新聞には、書いてあった。東京湾の入口で大きな地震があったらどうな
のかは、わからない。

じむきょく いま いけん なか がっこう なか びちくそうこ か あ きょうしつ つか れい
事務局 今あったご意見の中で、学校の中で備蓄倉庫の代わりに空き教室を使っている例
かずおお がっこう あ きょうしつ かい すみ へや つか
が数多くあって、学校からすると空き教室で4階の隅の部屋を使っていたところが、
ちいき かた くんれん とし うえ だれ お お たいへん びちくそうこ
地域の方から訓練の時に上から誰が降ろすのか。降ろすだけでも大変なので、備蓄倉庫を
した かい お いけん まえ あと いわせいいん
下（1階）に置いてくれという意見が3.11の前でした。その後は、岩瀬委員のおっしゃ
るように1階に置いておいたら水浸しで使えなくなるので、上に置いてくれということ
か げんじつろん かんが した うえ お がっこう かた はなし
に変わった。現実論を考えたら下よりは、上に置くべき。これは、学校の方からもお話
で にもつ お たいへん そな とく かわさきく こうりよ
が出ている。荷物を降ろすのは大変だけど、いざというときに備えて特に川崎区は、考慮
ひつよう
する必要があります。

きじまいいん いこう ところ じしん こわ ほうどう なんかいとらふと しら
木島委員 3.11以降いろんな所で地震の怖さが報道されていて、南海トラフトも調べら
れていて、どのくらいの地震が起きるかも想定されている。どういう所に表示を置いて
おくべきか想定範囲で考えておくべき。以前は多摩川沿いに水が逆流し民家に被害
そうてい はんい かんが いぜん たまがわぞ みず ぎゃくりゅう みんか ひがい
があったという話もあり、水害になるのはどの程度なのか。多摩川河口の辺りが、海拔
はなし すいがい ていど たまがわかこう あた かいぼつ
からどれくらいあるのか。実質のことを調べてもらった上でどう対処すべきか想定され
じっしつ しら うえ たいしょ そうてい
る範囲で考える必要がある。

おおのかちょう はざーどまっぷ さくせい み いただ
大野課長 ハザードマップが作成してあるので、見て頂くのがよいのか。

あいはらぶかいちょう かわさき たまがわ つるみがわ たいふう き とし つるみがわ ほんらん しじょう
藍原部会長 川崎には、多摩川も鶴見川もあるから。台風が来た時に鶴見川が氾濫して市場
かわさき みず き こと
から川崎まで水が来てしまった事がありました。

よねやまいいん さきほど すう つなみ しがいち はなし あぜりあ
米山委員 先程から数mの津波が市街地にくるかどうかという話がありますが、アゼリア
ちかがい はい だんさ み いりぐち なが こ
地下街に入るところの段差を見ると10cm、入口によっては1cmでも流れ込んでしまう。
だから、小さな地震でも段差がないところは心配だ。地下に流れ込むような事態の対策は
しているのか。

おおのかちょう いま はなし つなみ けん さいだいげん つなみ けいばじょう
大野課長 今の話は、津波についてで、よろしいですか。県の最大限の津波でも競馬場ぐ
らいまでしかこないと想定されています。

よねやまいいん そうてい こ すう つなみ き ばあい たいおう
米山委員 想定を超えて数cmの津波が来た場合の対応はしていないのか。

じむきょく き き かんりちいききょうぎかい なか あぜりあ かた もちろん はい さきほど で
事務局 危機管理地域協議会の中にアゼリアの方も勿論入っているので、先程出ました
じじよ こうじよ きょうじよ じぎょうしゃ じじよ
「自助」「公助」「共助」のいろんな事業者さんの「自助」というところで、アゼリ
ちかがい ぼうさいけいかく た じょうほうこうかん
ア地下街がどういった防災計画を立てているかという情報交換をすることになってい
ます。それぞれの事業者さんの情報を入手して、こちらにご報告する形でよろしい
ですか。

よねやまいいん かわさき どうしば げんしりょくぎじゅつけんきゅうしょ さいがい お ばあい
米山委員 川崎には、東芝の原子力技術研究所があるのですが、災害が起こった場合、ど
ろくらの被害があるのですかと県に質問したところ300～500mは、放射能の被害があ
ひがい けん しつもん ほうしゃのう ひがい
ると言われました。半径500mで被害が起こった場合の対応は、どうなるのですか。
い はんけい ひがい お ばあい たいおう

おおのかちょう くわ こと わ どうしば げんしりょくぎじゅつけんきゅうしょ じょうほう こうかい
大野課長 詳しい事は分からないのですが、東芝の原子力技術研究所のHPで情報は、公開
していませんか。

じむきょく あと どうぜん しつもん くみんかいぎ ばしょ じかい
事務局 3.11の後、当然ながらご質問がでてるので、区民会議のこちらの場所にも次回に
ていきょう よろ
提供するというので宜しいですか。

よしのいいん くみんかいぎ てーま れきし まな ぼうさいあんぜん かわさきくみん しんばい
吉野委員 区民会議のテーマは、「歴史に学ぶ防災安全」ですよね。川崎区民にとって心配

なのが、臨海工業地帯だろうと思う。40～50年位前まで川崎区内は、洗濯物が干せなかった。臨海工業地帯から塵芥が飛んでくるし、煤煙が飛んできた。東日本大震災ぐらいの大災害が起きた時に一番心配なのは、臨海工業地帯だと思う。先程、赤間委員があつては困るねとおっしゃったように川崎区民にとって一番困るのが臨海工業地帯の壊滅。あそこには、石油コンビナートや化学工場がある。今回の東日本大震災だって、千葉県でもガソリタンクが燃えだし、避難勧告まで出た。万が一が起きた時に川崎市は、臨海部にどういう対策を求めているのか。

市役所前道路は、緊急輸送道路ですね。扇島に救援物資が陸揚げされるが、扇島へ行く海底トンネルが水没したらおしまい。緊急輸送道路に違法駐車で自動車が満杯になった時にどうするのか。そういうところが整備されなければ、避難所に物資は来ない。本当の防災というのは、どんなことが起きても区民の生命は維持される。起きてしまったら、被害の拡大を防ぐ。避難所運営を区民会議が市に提案するのはどうなのか。

事務局 京浜工業地帯という事で、川崎・横浜・東京・千葉は、みな同じ状況。そういう意味では、大野課長の方で、臨海部対策という部会も作っているけれど、この部分については、区だけではどうしようもできない部分なので、市が県・東京都・国等の関係の中でやっていきます。一方で私達は臨海部で生活していて、その影響は当然あるわけで、市が県が国が議論している情報を的確に集めてきて、区民の皆様に提供するのが区役所の役割。東扇島に物資が来るのに海底トンネルが使えなかったら、今年6月に訓練が臨海部で行われて、区長と私も行ってきましたが、ヘリコプターが飛んできて物資を降ろして、船で持ってくる訓練を実際にやっていました。そういった情報が区民の皆さんにまだ伝わっていません。

吉野委員 多摩川が逆流するのだったら、3年でも5年計画でもいいから、土手を高くするとか時間をかけてやっていくべき。避難所運営の前に取り組むべきこと。

臨海部の企業は、かつて公害を出さないために設備投資をかなりしてきたし、震災に關しても企業は設備投資をしていると思う。川崎市の文化協会が作った海拔は、2.8m。

つなみ ゆかしたしんすい こうていさ ばしよ のきした
3mぐらいの津波なら床下浸水ぐらい。高低差があるので、場所によっては、軒下ぐらい
ちく
いく地区もある。

はざーどまっぷ ほんれい いろ ちずじょう いろ ちが み たいへん
ハザードマップがあるが、凡例の色と地図上の色が違って見える。大変わかりづらい。
たいしょうてき いろ か わ
対照的な色で書いてくれないと分かりづらい。

じむきょく いろ から ー ぼり あふりー いしき ひく してき いただ はなし
事務局 色については、カラーバリアフリーの意識が低いとご指摘を頂いたと話をしてお
きます。

よしのいいん ひなんじょ ちょうないかい は げんざいい ち しるし まった
吉野委員 避難所は、町内会のあっちこちに貼ってありますが、現在位置の印が全く
しみん ながねんす ひと しょうがっこう なまえ き わ がいこくじん さいきん
ない。市民で長年住んでいる人は、小学校の名前を聞いても分かるが、外国人とか、最近
かわさきし いじゅう ひと がっこうめい だ わ ちず しるし
川崎市に移住してきた人は、学校名だけ出しても分からない。地図にここですよと印を
つけてほしい。

ふじおかいいん しみん て ひなんばしよ けいじ いま
藤岡委員 市民の手でやっていける避難場所の掲示はあっても今どこにいて、そこにはど
うやったら行けるのと日々確認している人は、少ない。海拔表示の事は、新井委員の方が
い ひびかくにん ひと すく かいぼつひょうじ こと あらいいいん ほう
らお話がありましたが、今年から出来る事はやっていく。電柱でも掲示板でも貼れると
はなし ことし でき こと でんちゅう けいじばん は
ころは、どこでも貼っておくのがよいと思いますが、町内会の掲示板に全部貼るよう
は ひなんばしよ いちかんけい わ つなみ き とき がっこう はし かた
して、避難場所との位置関係も分かるようにする。津波が来た時に学校まで走れない方も
ちか かいだ いじょう まんしょんなど はい せきゆりてい
いるので、近くにある3階建て以上のマンション等でどこに入れるのか、セキュリティの
もんだい こ なに とき に こ しーる は ところ
問題もありますが、お子さんが何かあった時に逃げ込めるようなシールを貼っている所
まんしょん しんさい お さい かいだん おくじょう かいほう
があります。マンションにも震災が起きた際に階段や屋上を開放してくれることがわか
めじるし おも
る目印があるとよいと思います。

とむらいいいん くみんかいぎ さいがい たい ぎろん でき こうじょ ほう かんが
戸村委員 区民会議で災害に対する議論が出来て、公助の方は、かなり考えられていると
おも われわれ ぎろん じじょ きょうじょ ほう おも
思います。我々が、議論しなくてはならないのは、「自助」「共助」の方だと思ひます。
じっさい ひなん さい ちしき ひとたち こうどう うつ こと ひなんくんれん ため
実際に避難をした際に知識のある人達が行動に移る事。避難訓練をやる為にもっと
つーる ひなんくんれん かくちょうかい いっぽんくぼ みな め
ツールをそろえるべき。こういった避難訓練のDVDを各町会に一本配って、皆の目に

ふ じしゅぼうさいそしき つく きのう なに ひなん
触れるようにしないと自主防災組織を作っても機能しない。どこに何があるのか、避難し
とき し いま すまほ ぼそこん こじん だいま じだい み
た時に知りたい。今は、スマホとかパソコンを個人が1台持つ時代なので、ここを見れば、
い じょうほうていきょう かわさきし しんすいじつせきちいき
どこに行けばわかるような情報提供もしてもらいたい。川崎市は、浸水実績地域とし
こうかい かこ ぼしょ しんすい ぼしょ で
て公開されているので、過去にこの場所が浸水したところといったように場所が出てく
ぎやく たかだい まっぶ つく じょうほう せいり
る。逆に高台がどこにあるのかといったマップを作ってくれば、情報を整理して、
だれ み
いつでも誰もがいつでも見れるようにしてほしい。

てらおいいん とき けいたい ぜんぜん みぞぐち えきまえ こうしゅうでんわ ちょうだ
寺尾委員 3.11の時に携帯は、全然つながらなかった。溝口の駅前の公衆電話は、長蛇の
れつ かーどしき こうしゅうでんわ なら いや こうしゅうでんわ
列だったが、カード式の公衆電話は、並んでいなかった。NTTは嫌がるが、公衆電話は、
だ い れ く と いちばん ちいき ねが ていどころしゅうでんわ せっち
ダイレクトなので一番つながる。地域でお願いして、ある程度公衆電話の設置をしても
けいたい みな いっせい ばんく
らう。携帯は、皆が一斉にかけたらパンクする。

かくちょうかい けいじばん かいぼつひょうじ ちいき ひと なん し
各町会の掲示板に海拔表示をしてもらおう。地域の人がここは、何mか知っていること
だいじ さきほどはな げんしりよく けん どうしば だいがく
が大事。先程話していた原子力の件ですが、東芝だけでなく、大学にもあるので、そう
ち え つ く ひつよう つなみ しんばい ほうしゃのう おせん
いうところは、ちゃんとチェックしておく必要がある。津波も心配ですが、放射能の汚染
こわ おも
は怖いと思う。

いま こうえん くるま はい がっこう おくじょう かわさきし まんしょん
今、公園に車が入れないようになっている。学校の屋上も川崎市のマンションの
おくじょう かぎ じこ で ききかんり
屋上もカギがかかっている、事故がないように入れないようになっている。危機管理と
ひなん しせつ かんり もんだい きょういく
してそこに避難するのならどうすればいいのか、施設の管理の問題になるので、教育
いいんかい はな あ
委員会と話し合ってもらいたい。

あいはらぶかいちょう ほう がっこう こうもん おくじょう かぎ あ やくいん
藍原部会長 うちの方は、学校の校門も屋上も1つの鍵で開くようにしてあります。役員
おくじょう かぎ も がっこう こうもん まえ うち ひと かぎ わた ちいき ひと
さんが屋上の鍵を持っていて、学校の校門の前のお家の人に鍵を渡している。地域の人
かぎ かんり さいがい お とき ま あ
が鍵を管理しないと災害が起きた時に間に合わない。

じむきょく じかんたい がっこう だれ じかんたい さいがい ばあい に ぼしょ
事務局 時間帯によっては、学校に誰もいない時間帯に災害があった場合、逃げる場所が
かぎ はい ちいき きんりん かた きょうりょく がっこう かぎ
あるのに鍵がかかっている入れない。地域の近隣の方に協力してもらって、学校の鍵を
あず じょじょ すず きょう けんりつかわさきこうこう で
預かってもらうことを徐々に進めています。今日も県立川崎高校からOKが出ました。

よしのいいん ほうしゃのう おな じげん ゆうどくが す りんかいこうぎょうちたい ほぜんさく
吉野委員 放射能と同じ次元で有毒ガスとか、臨海工業地帯でどういう保全策をしている
のか。大学の実験用の原子炉も怖いですが、大師地区はもろにきますよね。

あらいいいん しょうわでんこう あんもにあ えんそ ちゅうしん
新井委員 昭和電工さんのところなんかもアンモニアとか・塩素とか中心にありますよ
ね。

よしのいいん かわさき わたりだ ひがしかぜ ぼいえん と ちえっく ねが
吉野委員 川崎の渡田まで東風になると煤煙が飛んでくるので。そのチェックをお願いし
ます。

あいはらぶかいちょう いま かだい いただ しんぎかだい しりょう
藍原部会長 今の課題をそのままにして頂いて、2. 審議課題がありますが、資料の5に
載っておりますので、事務局から説明をお願いします。

じむきょく しりょう せつめい
事務局 <資料5について説明>

こんご ぶかい しんぎすけ じゅー る ほんじつ だい かい がつ ところ だい かい
今後の部会の審議スケジュールについて、本日は第3回（9月の所）で、第4回まで、
てーま かん げんじょう ちょうさ ぶんせき だい かい ぐたいてき なに かいけつ
テーマに関する現状の調査・分析をすすめて、第5回に具体的に何を解決すべきかとい
ぐたいてき かだい しぼ こ かだい き こんねんど
う具体的な課題に絞り込みをする。課題が決まったところで今年度は、おしまいという
ことになり、中間報告を頂けたらと思います。次回第4回・5回につきましては、調査
みなさま ぼしよ しきつ い ていあん いただ
ということで、皆様からこういう場所に視察に行きたいというような提案を頂ければ、
ほう ちょうせい
こちらの方で調整をします。

あいはらぶかいちょう いぜん ぼうさいせんたー けんがく はなし で とうきょうとしょうぼうきょく
藍原部会長 以前、防災センターを見学しようかという話が出ました。東京都消防局の
かた ぼうさいせんたー で き みな
方に防災センターが出来ていますが。皆さんどうですか。

よしのいいん おだ なんぶぼうさいせんたー ちいき ひと し
吉野委員 小田にある南部防災センターは、地域の人も知らないのですがどうですか。

じむきょく びちく ぼうさい きよてん げんざい ようと
事務局 あそこは、備蓄はしてありますが、防災の拠点にはなっていない。現在は、用途が

かわ びちくそうこてき きのう かわさきく なか けんがく ひがしおうぎしま
変わって、備蓄倉庫的な機能になっている。川崎区の中で見学をするとすれば、東 扇 島
くに ほう しせつ ひがしおうぎしま ひがしこうえん ほう りんかいぶ くに うご せつめい いただ おもい
の国の方の施設。東 扇 島の 東 公園の方が臨海部の国の動きを説明して頂けると思いま
す。

てらおいん ひがしにほんだいしんさい あと えきじょうか なお ひがしおうぎしま どうろ くるま はし
寺尾委員 東日本大震災の後にみんな液状化を直しに 東 扇 島にいった。道路を 車 が走れ
なくなっていた。

じむきょく さきほど りんかいぶ じょうほうしゅうしゅう ひと くんれん くちょう とき しみん かた けんがく
事務局 先程の臨海部の情報 収 集 の一つ。訓練に区長とうかがった時に市民の方が見学
にいきたいと言ったらどうですかと聞いたところ、事前におっしゃってくれば、調整
するといわれています。まずは、川崎区の中にある施設ではいかがですか。皆さんまだ、
い わたくし たてもん そとがわ み
行かれていないみたいだし、私 も建物の外側しか見ていません。よければ、
せっていんぐ
セッティングをします。

あいはらぶかいちょう とれーらー ぶっし はこ とき でこぼこ どうろ そうとうあつ てっばん
藍原部会長 トレーラーで物資を運ぶ時も、凸凹になった道路でも相当厚い鉄板があつて、
どうろ とれーらー ゆそう しく
道路に於いてトレーラーで輸送する仕組みになっています。

よねやまいん まいくろばす かいがんせん み い こうじょう なか
米山委員 マイクロバスで海岸線を見に行きたいですね。でも、工場があつて中に
はい
入れないところもある。

じむきょく かいがんせん じゅんしせん うみ ほう はい ほう こうわんきょく ちょうせい
事務局 海岸線だと巡視船で、海の方から入った方がよいので、港湾局との調整になり
くみんかいぎ しさつ じゅんび いま だい かい だい かい がつ がつ
ますが、区民会議の視察ということで準備をします。今、第4回と第5回を10月と12月に
く
組んでいます。どうですか。

あいはらぶかいちょう がつ しさつ く
藍原部会長 10月のところに視察を組む。

じむきょく じゅんしせん じかんたい ひるま がつ ごご
事務局 巡視船ということになると、時間帯が昼間になります。10月のどこかの午後にな
ふね ほう すけじゅーる かぎ あわ ぼうさいせんたー あぼ
ります。船の方のスケジュールが限られてくるので、それに併せて防災センターのアポを

とります。もう一つの部会の委員さんにも声を掛けた方がよいですね。日程は、事務局に
お任せという事で、10月が万が一だめだったら11月で。視察は、平日になります。

事務局 次回は、視察という事で決めさせていただいた。第5回の方で、こういう資料が
ほしいとか、こういうお話を聞きたいとか、分かりましたらご提案頂きたいと思いま
し、日程調整をさせて頂くので、その時にご連絡いただければと思います。

吉野委員 勝野さんにはお願いしたが、該当する資料が無いということで、区内の等高線の
ついた高低図。分かりやすいものがないですか。

事務局 我々も国土地理院の地図の状況を調べたのですが、1mメッシュとか短いところ
できているものが無い。最低でも10mとか20m単位になっています。あと数値地図とい
うものがあって、10mのメッシュできってあって、そのエリアの平均的な標高が書いてあ
るものはありますが。1枚の部分が一丁目という範囲のものしかなくて、データとして
7,500円かかるので、川崎区をカバーすると27~28万かかってしまいます。

吉野委員 下水道は自然流下なので、下水道局はある程度高低差を把握されているのでは
ないかと思ったのですが。

事務局 地図ベースではなくて、路線できっていくと思いますが、地図で面的におとして
いるかという点も無いと思います。あくまでも自分達の工事エリアを線で動いているので。
工事エリアで統一されたものではありません。

その他の資料のまだ触っていない部分のご説明ですが、参考資料1に川崎市が発行し
ている防災関連パンフレットを載せています。インターネットでみれるものを除いて
資料を後ろのテーブルの上に置いてあります。

<参考資料2と参考資料3の説明>

じむきょく さきほど はなし どうしば げんぱつ かん しりょう ぷりんとあうと
事務局 先程お話があった東芝の原発に関するHPの資料ですが、プリントアウトしたので
くば
お配りします。

じかい しさつ だい かい こみゅにていばす あんけーとけっか だいざい
今回は、視察ということですが、第5回は、コミュニティバスのアンケート結果を題材
きょうぎ しさつ かんそう あわ おこな おも
にして協議するのと視察の感想を併せて行いたいと思います。

じむきょく ほんじつ しゅうりょう
事務局 本日は、これで終了させていただきます。

ごご じ ぶん へい かい
午後 8時20分 閉 会